

平成26年度事務事業評価シート

◎基本情報

事務事業名	学校安全施設整備事業		担当部署	教育委員会 教育総務課(室)	
総合計画体系			根拠法令 計画など	学校教育法第5条、地方自治法第180条8、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第1項第7号都市公園における遊具の安全確保に関する指針	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり			
政策(中項目)	3	たくましく生きる力を育むまち なると	事業期間	開始	平成 <input type="text" value="26"/> 18 年度
(小項目)		教育行政			終期
施策	1	教育行政の充実			
基本事業	7	安全で安心な教育環境の整備充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市内の幼稚園・小中学校に設置している設備等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	児童生徒たちが安全に、かつ安心して遊び学べる施設環境を整備していくために、老朽化し危険な状態にある遊具の撤去や設置、施設の改修、防犯設備など安心確保のための設備整備をおこない安全な学校施設とする。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	単位
		事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数	37	76	96	116	136	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	25年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	現地調査や校長ヒアリング等により、各学校施設で安全上・防犯上設置や改修が必要な施設設備を集計し、早急に対応すべき事案について予算内で整備を行った。 また、平成26年度以降に6カ年の計画で「防犯カメラとセンサーライト」の整備を進めるため、現在の設置状況調査を実施した。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		24年度実績	25年度実績	26年度目標	27年度目標	28年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 前年度までに改修や設置を行った件数	21	37	76	96	116	件
	2 年度中に改修や設置を行った件数	16	39	20	20	20	件
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	事業対象件数のうち改修や設置などにより改善する学校施設・遊具件数	37	76	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%

コスト分析		24年度実績	25年度実績	26年度	27年度	28年度	単位	
事業費	(財源内訳の合計)	9,091	9,341	10,000	10,000	10,000	千円	
	財源内訳	国	0	0	0	0		0
		県	0	0	0	0		0
		地方債	0	0	0	0		0
		その他	0	0	0	0		0
一般財源	9,091	9,341	10,000	10,000	10,000			
事業にかかる人件費 (人件費内訳の合計)		0	0	0	0	0	人	
人件費内訳	正規職員(6,517千円/人)							
	臨時職員等(2,012千円/人)							
総事業費 (事業費と事業にかかる人件費の合計)		9,091	9,341	10,000	10,000	10,000	千円	

【事務事業名:学校安全施設整備事業】

◎平成26年の実施状況(DO')

現在の実施状況	各幼・小中学校に現地調査を行い、安全・安心の確保のために、改修等が必要と判断される新たな整備事項の有無を確認している。
---------	---

◎項目別評価(CHECK)

1.必要性の評価		理由等所見欄
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 廃止した場合に支障が出る。	平成24年度末において、市内幼・小・中学校で安全施設整備事業対象は112件あるが、学校施設の老朽化に伴い、改修が必要となる件数は毎年増えることが考えられる。
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 施策 教育行政の充実 の達成につながる事業である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 税金で実施するにふさわしい事業で、市民への説明責任も果たせる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 市民の基本的な生活の維持・確保に必要不可欠な事業である。 行政内部の管理上必要不可欠な事業である。	
	<input type="checkbox"/> ⑤ 法令により実施することが義務づけられている事業である。	
/10		
2.有効性の評価		理由等所見欄
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 市民生活上の課題解決に貢献している。 行政内部の管理上の課題解決に貢献している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業目標が達成できるような事業内容になっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 事業対象は適切である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 成果目標が達成され、市民に具体的に説明できるような効果があがっている。	
	<input type="checkbox"/> ⑤ 現在の事業費で、事業の見直しによる成果向上の余地はない。	
/10		
3.効率性の評価		理由等所見欄
8	<input checked="" type="checkbox"/> ① 事業実施手法は適切である。	子どもたちにとって、安全で安心できる施設とするためには、早急に取り組む必要があるが、財政状況を考え、優先度の高い事業を施工していく。
	<input checked="" type="checkbox"/> ② 事業費を削減する余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ③ 作業手順の改善などによる人件費削減の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ④ 受益者負担や補助金の割合に問題はない。	
	<input type="checkbox"/> ⑤ 効率性向上の余地はない。	
/10		

◎今後の方向性(ACTION)

課題					
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓「廃止」・「要改善」・「拡充」の場合は以下の欄に記入してください。					
今後の改革案	実施予定時期	▼	▼		
	どのように改革するのか				